

## 平成30年度 木更津市生涯学習推進協議会第1回会議 議事録

- 1 日 時 平成30年7月25日(水) 午後2時00分～4時00分
- 2 会 場 木更津市役所朝日庁舎 会議室E
- 3 出席者 委 員:佐久間研二会長、桂啓之副会長、嶋田桂子委員、古藤田憲之委員、石渡泰彦委員、藤寄保委員、橋詰清委員、平本俊明委員、櫻井隆雄委員、平野正善委員、安藤順子委員(11名)
- 事務局:高澤茂夫教育長、岩埜伸二教育部長、秋元淳教育部次長、野口琢郎生涯学習課長、鈴木和代副主幹、木村容子副主幹、秋川裕也事務員(7名)

### 4 協議事項

- (1) 木更津市生涯学習推進協議会長および副会長の互選について
- (2) 平成30年度教育委員会基本方針、生涯学習の基本目標・政策・重点施策および生涯学習関係事業について
- ① 平成30年度教育委員会方針について
  - ② 平成30年度生涯学習の基本目標・政策・重点施策について
  - ③ 生涯学習市民公開講座
  - ④ 生涯学習フェスティバル
  - ⑤ 生涯学習バス「まなび」
- (3) その他

### 5 配布資料

- (1) 会議次第(資料)

### 6 会議の概要

(進行)

ただ今より、木更津市生涯学習推進協議会委員の委嘱状交付式を執り行います。お名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、自席でご起立下さい。なお、委嘱状交付につきましては、市長代理として教育長から行います。

委嘱状交付— 高澤教育長

介添え— 岩埜部長

名前読み上げ— 野口課長

(進行)

ありがとうございました。以上をもちまして委嘱状交付式を終了いたします。

(進行)

ただ今より平成30年度生涯学習推進協議会第1回会議を開催いたします。

本日の会議は委員12名中、11名の出席であり、欠席は1名でございます。

なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開され

ております。本日の傍聴人はおりません。以上報告いたします。

(進行)

それでは、はじめに高澤教育長よりご挨拶申し上げます。

(高澤教育長)

本日は、大変お忙しいなか、生涯学習推進協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

皆様には、日頃から本市の生涯学習の推進にお力添えを頂きありがとうございます。この場を借りて、心からお礼を申し上げたいと思います。

今、委嘱状を交付させていただきましたが、今期は12名の委員のうち、佐久間委員をはじめ、4名の方が新しく委員となりました。任期は2年となりますのでよろしくお願いいたします。

さて、本市が平成27年3月に策定した木更津市第1次基本計画、また教育委員会の一番中心となる第1次木更津市教育振興基本計画が、今年度をもって終了となります。

従いまして、今年度は、さまざまな施策についての検証の年であると同時に、第2次の策定に向けて取り組みを始めたところでもあります。大事な1年だと認識しております。

生涯学習は、社会教育、学校教育、そして家庭教育なども含め、私たち一人ひとりが自主的、自発的に行うことを基本とした学習活動全般を包括するものです。市民の多様なニーズに応えるよう、木更津市でも教育委員会のみならず市をあげてさまざまな施策を推進して参ります。

後ほど担当者より説明させていただきますが、生涯学習課が実施しております、生涯学習市民公開講座、生涯学習バス、生涯学習フェスティバルを中心に委員の皆様の忌憚のない意見をいただければありがたいと考えております。

本協議会の一つの成果として、生涯学習市民公開講座でこれまで全ての講座を君津学園にお願いしていたものを今年度は、そのなかの一コマではございますが木更津高専さんをお願いをして、昨年度とは違った形の生涯学習市民公開講座を開講させていただきました。今回も皆様の忌憚のない意見をいただければありがたいと考えております。

(事務局)

続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。

岩埜伸二教育部長でございます。 岩埜部長あいさつ

秋元淳教育部次長でございます。 秋元次長あいさつ

生涯学習課職員は自己紹介させていただきます。

生涯学習課職員紹介——自己紹介

(事務局)

ありがとうございました。

続きまして、委員の皆様より、お手元の名簿順に従いまして自己紹介をお願いいた

します。

**委員自己紹介**

(事務局)

それでは、議事に入りたいと思いますが、慣例によりまして、会長が決まるまで事務局で進行ささせていただきますと存じますがよろしいでしょうか。

(委員)

**異議なし**

(事務局)

異議がないようですので、事務局で進行させていただきます。

協議事項(1)の「生涯学習推進協議会会長および副会長の互選について」ですが、生涯学習推進協議会設置要綱第5条により、「本会の会長及び副会長は委員の互選による」となっておりますが、いかが取り計らいましょうか？

(安藤委員)

事務局の案はありますか

(事務局)

では、事務局よりご提案いたします。

会長には木更津工業高等専門学校校長の「佐久間委員」、副会長に木更津市図書館協議会から選出の「桂委員」をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。ご承認いただける方は、拍手をお願いします。

(委員)

**拍手**

(事務局)

ありがとうございます。全会一致でご承認いただきましたので、佐久間委員を会長に、桂委員に副会長をお願いいたしますと存じます。それでは、佐久間会長、桂副会長、席をお移りください。

それでは、佐久間会長 桂副会長よりごあいさつをいただきたいと存じます。

よろしく願いいたします。

**佐久間会長あいさつ**

**桂副会長あいさつ**

(事務局)

ありがとうございました。生涯学習推進協議会設置要綱第6条により、会長に本会議の議長として今後の議事進行をお願いしたいと存じます。

佐久間会長よろしくお願ひいたします。

(佐久間会長)

それでは、これより進行を務めさせていただきます。

最初に平成30年度教育委員会の基本方針、次に生涯学習の基本目標・政策・重点施策、生涯学習関係事業について、それぞれ事務局よりご説明をお願いいたします。事前に資料等は送付されていると思いますが、事務局から説明を受けた後、質疑の時間を設けたいと思います。それでは、説明をよろしくお願ひします。

#### 事務局より説明

- ・教育委員会の基本方針・生涯学習の基本目標・政策・重点施策
- ・生涯学習関係事業（公開講座・バス・フェスティバル）

(佐久間会長)

ありがとうございました。それでは委員の皆さんよりご質問やご意見がありましたらお願いいたします。

(橋詰委員)

私は先日、第2回講座の「教養としての『数的処理』～ズバリ！これが公務員試験だ～」に参加しましたが、とてもおもしろかった。このような講座があるのかと驚きました。ぜひ、皆さんも市民公開講座を受けてみたら面白いと思います。

(平野委員)

生涯学習とは関係ないのですが、私どもがやっている住民会議は、中学校区ごとに実施しています。来年の4月から中郷中学校が無くなり清川中学校に統合されることで、13中学校区でやっていたものが12中学校区になるのか、それとも、元々あったところは、学校がなくなるけど活動としては残してあげるのか、それをはっきりしてあげないと地区として方針が定まらない。それを早めにやってあげてほしいと思います。

(野口課長)

今の件に関しまして、まずは中郷住民会議の会長と話をしなければならないと思いますので、今そのように進めているところです。その後、順を追って話し合いの場を設けて、来年度から順調に進むことが出来るように計画しているところです。

(平野委員)

私は、行政側がどのような方針かを出していくべきだと思います。

(秋元次長)

住民会議という組織は中学校区に一つあります。例えば、二中学区だと小学校でいうと請西小、真舟小、二小学校区が含まれます。小学校は三校ありますが、中学校区として、補助金は他の地区と同様の額を出しています。

今回の話は、中郷中学校が統合され、中郷中学校が無くなっても今までどおり中郷が行なってきた活動については、後退することなく実施したいという地区の希望があっても、学校がなくなったのにそこに今までどおり補助金を出すとすると、他の地域との整合性がとれないので、慎重に検討していかないといけないということです。

中郷の青少年健全育成活動を後退させないようにしながらも、他の地区との公平性をどうやって保っていくかというのが今後の課題なので、その辺については、各住民会議に会長や事務局と慎重に検討していきます。

三中学校と清川中学校が重なることについては、区や学校は重複している部分もあって、それは、両方出ないより、両方とも出てもらうほうが良いかもしれません。子どもは違う学校でも、地域の子どもたちだという考え方をすれば両方に所属していても、決してマイナスではない。

平野委員がおっしゃるとおり、市の方でも検討を進めながら住民会議の役員などに提示していきたいと考えております。

(古藤田委員)

6 ページの 5 番、生涯学習・社会教育施設の整備ですが、これから公民館の総合的な整備計画の策定をするということですが、社会教育施設の適正な保全ということですが、今回、八幡台公民館が耐震補強工事し、西清川公民館も空調工事、鎌足公民館も空調工事をやっていただきました。おそらく今、各公民館が老朽化して、いろいろ所で改修していかないといけないと思います。その辺の現状を教えてくださいということと、金田地域交流センターが整備されるということで、我々公民館運営審議会も期待しているところですが、公民館機能がどのくらい入っていくのでしょうか。

(野口課長)

公民館の整備については、空調設備などは古く、壊れやすいので、古いものから優先順位をつけて整備していきますが、突発的に壊れてしまうこともありますので、緊急性の高いものから対応しています。補助金もありませんので予算や財政的などところで難しいところはあるかと思えます。

金田地域交流センターについては、公民館的機能を引き継ぐということです。公民館ではないですが、出来れば社会教育主事は 1 名置けるよう、担当の市民活動支援課と協議を進めています。

(古藤田委員)

公民館の補助金がなくなってから当分経つのですか？

(野口課長)

文部科学省の補助金は平成9年になくなっています。

(古藤田委員)

手数料・使用料が有料化になったわけですが、その増えたお金は公民館に還元していくと聞いています。そのように考えていてよろしいですか？

(岩埜部長)

公民館の有料化に伴い、財政当局と今年度もある程度、優先順位をつけながら目に見える形での設備の整備を行っていきます。今後も予算確保については、財政当局と交渉していきたいと思っています。

(古藤田委員)

先ほど、金田地域交流センターに社会教育委員を置くと言いましたけど。

(野口課長)

社会教育主事を置く方向で調整しています。

(古藤田委員)

社会教育主事は、1名ですか？

(野口課長)

1人置くことができるように協議を進めています。

(古藤田委員)

公民館長は？

(野口課長)

公民館長ではなくセンター長となります。

(秋元次長)

金田地域交流センターは、国の社会資本整備事業という補助金の中で建設されるもので、地域交流センターという名称で運営していくということになっております。

皆さんは公民館というものをどのようなイメージをもっているかわかりませんが、今まで金田公民館で活動していたものは、綺麗な建物の綺麗な部屋で出来るようになることは確約できます。

公民館が行っている主催講座、健康教室だったり高齢者学級だったりが無くなってしまわないかという不安があるかもしれないので、そこは、今までどおり社会教育主事有資格者を一人職員として置いて、その職員を中心に、責任を持って主催事業の計画や住民の支援を行っていかうということです。ただ、教育委員会の所管ではなく、市民部、市長部局所管の建物になります。

(古藤田委員)

主催事業は社会教育主事が行っていくということですね。

(秋元次長)

地域交流センターの主催事業として、現公民館と同じような活動をしていくということです。社会教育主事有資格者が責任を持って皆さんのお手伝い出来るようにしていきたいと思っています。

公民館運営審議会委員についても、金田地域から1名出していきたいと思っています。

(平野委員)

西清川公民館の空調改修工事ですが、集中システムを導入するというので、全館閉館で工事が始まりましたが、単純に考えれば、集中システムは必要ないのではないかと思います。今、個別のエアコンも能力が上がってきているので、その方が管理しやすいのではないのでしょうか。個別のエアコンを付ければ、この工事費の10分の1で出来るのではないのでしょうか。

(秋元次長)

平野委員のご意見のように、私も家庭用のエアコンを部屋ごとに入れていくことで良いのではないかと思います。そのような簡単な話ではなく、高圧や低圧など電気の関係で、専門家によると個別のほうが高くなるということです。簡単にはいかないのが公共施設のエアコンの問題点です。単純な話ではなく、専門家同士で話していかないと最終的には分かりません。

(平野委員)

施設の規模にもよると思います。西清川公民館の施設でどうなのかと。補助金ももらって建てた施設なので、縛りがあるのかと思っていましたが。

(岩埜部長)

学校でも教室につけるということで、変電するために電気室を改造するのに3,000万かかるということでした。

(橋詰委員)

先日、防災の講演会があり中央公民館があるスパークルシティに行きましたが、駐車場がいっぱいでした。無料の公民館専用の駐車場は作らないのですか。

旧中央公民館に駐車場はあるが、少し距離があるため、夏は暑いし冬は寒い。

(鈴木副主幹)

旧中央公民館の駐車場は無料でご使用いただけます。また西口駐車場は、サークル等で利用される方については、一定の時間は無料になる回数駐車券を中央公民館からお渡ししていますが、講演会などに来られた方にはお配りしていません。現在のところは、(中央公民館専用の駐車場を作る) 予定は無く、少し遠いですが旧中央公民館から歩いていただくことをお願いしているところです。

ご不便をおかけしますが、現在のところは新たに駐車場を作ることは考えておりません。

(高澤教育長)

広く皆さんにお声をかけて行う研究会や研修会は少ないと思います。普段サークル活動で利用する方に西口駐車場の回数駐車券をお配りします。

(秋元次長)

老人クラブ(シニアクラブ)の会合で正式に公民館を利用する場合などは、回数駐車券を配布できます。

(古藤田委員)

生涯学習バスですが、昨年、今年と調子が悪いと伺ってしまして、今年も利用しましたが、帰る際に調子が悪く出発するのに少し時間がかかりました。

生涯学習バスも老朽化しているように感じますが、新しくしたりしますか。

(鈴木副主幹)

これまで、生涯学習バスは生涯学習基金を充てて購入してきましたが、現在の生涯学習基金の残金では、バスは購入できず、もしバスを購入するとしたら、予算がつけばということになります。昨年調子が悪かった後、修理をし、今は調子が良いと聞いています。現在の調子であれば、まだ大丈夫と管理会社からも報告を受けておりますが、いずれにしても消耗品ですので今後買い替えする時期がくると思います。

(古藤田委員)

今、どのくらいなのですか。

(鈴木副主幹)

現在、10年で30万キロほど走っています。

(古藤田委員)

調子が悪くなったらすぐ替えるというわけにはいかないと思うので、検討していく必要があると思います。

(秋元次長)

当初生涯学習基金は、1億円から始めて、預金利子で運用していこうとしましたが、利子の利率が下がって、現在800万ほどなので、多額の寄附が基金に入っていけば状況は変わります。

(平野委員)

今回、清川中学校との統合により中郷中学校が無くなりますが、どの市町村も学校の統廃合が話題になっています。木更津市もいろんな話しが出ていますが、新しく真舟小学校が造られて、もう今後造られることはなく、統合していくような地区が出てくると思います。市として対策や考え方を持っていますか。

(高澤教育長)

その辺も含めて、今年新しく、全市的に見直しをするということで、先日1回目の審議会を立ち上げました。1年から1年半ぐらいかけてやっていきます。一つの基準となるのは、地域のまちづくりという視点をおっしゃる方がいらっしゃいますが、私自身は、教育の観点から、子ども達が学べる場をどうしていくかというのを中心にしたいと思っています。子ども達が、学力をつけたり人間力をつけたりするときに、一定の規模は必要だと考えております。そのようなところも考えながら今後も統合についてはやっていきたいと考えております。

また、逆の面で心配しているのは、金田小学校、中学校が今まで単学級で、学年の一つしかクラスがありませんでしたが、今年の4月に入学した一年生は、2クラスになりました。木更津市に何歳が何人いるというのがわかりますので、来年度の新一年生も2クラスです。その次も2クラス。その次が3クラスになります。今の金田小学校の校舎ではもう部屋数が間違いなく足りなくなりますので、今回の審議会の中でも、金田小学校のことは検討しなくてははいけない。

数年後はその子どもたちが中学校に上がりますが、金田中学校は6学級数分ではかありませんので教室が足りなくなります。ですから、今回の審議会の中でも、いくつか統合が望ましいだろうという学校や、新しい校舎の建築に向けて検討していくことになります。

もう一つは、古藤田委員もおっしゃいましたが、公民館や学校もそうですが、ここ10～15年先にほとんどの建物が老朽化を迎えます。耐震は大丈夫でも、元々の建物自体の躯体が古くなってしまいうということ、全国的なものです。そのような時にどうするのかという議論を、今から始めていかないと思わなくなると思っています。ですから本市においても、市が再配置計画というのを、30年間の期間で作っていますが、その中で、老朽化を迎えるときに、人口も減ってくると思いますが、市の

財産も無くなっていきますので、学校の建て直しをするならば、公民館と複合化していくなど、いろいろな形をとりながら、これから10年、15年、やっていくと思います。長期的、全市的に見ていく必要があると感じています。

(平野委員)

結局、教育施設そのものを、包括的に考えていかないといけないと思います。

また、これだけ災害が多いと避難施設としてのことも考えていかないといけない。

今、学校が避難所となっていますが、形だけであって実際は機能していない状況です。それも考えて地域の中核としての施設を造ってください。

(高澤教育長)

先の話ですが、中央公民館も名称のとおり仮移転ですので、10～15年後あたりに木更津第一中学校が開館60年を迎え、立て替えの時期となると思うので、それに合わせて中央公民館と複合化出来るようであれば、検討していくと思います。

(平野委員)

出来るかどうかは別として、考え方として持っていないといけないと思います。

今、木更津市で大きな施設を持っているのは、高専さんとか総合高校さんが敷地面としては大きくある程度の空間を持っている。特に、都市部にあるというのは、地元の人間としては力強いと思います。

(佐久間会長)

今回は、平成30年度第1回目の会議ということで、全員の方にご発言いただければと思っております。ご自身の所属されている団体の課題などでも構いません。

(鵜田委員)

先ほど中郷の話が出ましたけれども、私は小学校、中学校と中郷で育ちまして、現在も中郷に住んでいます。中郷中学校が無くなることに寂しさもありますが、地域で連携して子ども達のためになれば良いと思っております。

(高澤教育長)

私の出た小学校、中学校はもうありません。今の子どもたちは2駅先の中学校に行っています。小学校も1駅先に行っています。最初は反対もあったかと思いますが、今は皆さん協力しましょうという考えになっています。距離的には、近隣で統合している中では、木更津市が一番近いのではないかと思います。富津市などは、1駅、2駅先に行ったりもします。

(磯貝委員)

自分は、幼児教育なのでなかなか生涯学習との結びつきというのは、少し難しいと

と思いますが、木更津市に関しては、人口も増えていきますし、園児についても数的には他の地域より良い状況になってきているところです。子育て支援ということなので、認定子ども園も含めて、ある一方の面の子育て支援は非常に進んでいると思います。しかし、それは、働く母親に対する子育て支援です。

教育的に見ると、3～5歳の子ども達にとって母親父親が必要な時期に、出来るだけ両親が子どもといる時間が増えてほしいと思います。ある程度子どもに意識ができて、家庭の事情とかがわかるような年齢になれば、言い訳は通用すると思いますが、極端な話し、3、4歳の時に、自分が熱を出した時でもどこかに預けられ、夜遅くまで母親が迎えに来てくれないという状況が本当の子育て支援なのかということも含めて、それぞれの家庭に応じた子育て支援があると思うので、私は、親と一緒にいなければいけない時期と一緒にいられるような形の子育て支援もこれから必要なのではないかと思います。

50年、60年先、今の形で育った子ども達が、自分の子どもに対して、どのような愛情を注げるかということも含めて心配しているところで、特に生涯学習の講座を受ける方やサークルで活動されている方のパワーを幼児教育へリンクさせて新しい子育て支援の形を作れないかと模索していければと思います。

今は60歳、65歳で定年ですが、そこで定年するべき人たちではないような気がするので、そういう人たちのパワーも含めて、何か子育て支援に携わっていただきたいという願いがありますので、生涯学習の講座などで、幼児教育とリンクするものが増えていって新しい子育て支援の形が見えてくれば、木更津市の教育にとっても良いと思うので、今期初めて委員に委嘱していただいたので、いろいろと勉強させてもらえればと思っております。

(桂副会長)

図書館も読み聞かせ等の幼児支援を行っています。

(藤寄委員)

鎌足中学校です。先ほどから、統合の話が出ておりますけれども、地域の方からは、ぜひ残してほしいと言われております。また教育長がおっしゃっていたように、部活動も厳しい状況です。今、テニス部、野球部、卓球部の3つです。特に野球部は9人集められないという苦しい状況であります。学校としては、野球部はもう出来ないのではないか、個人種目の陸上や剣道など、個人でも出来るものに切り替えていかないといけないのではないかという話しは出ておりますので、検討していく予定です。

(平本委員)

先ほど橋詰委員がお話ししていましたが、私も先週の土曜日、市民公開講座に出席させていただき大変面白かったです。講師の先生が、初めてだったからか非常に力を入れていて良かったです。ただ、周りを見るとあまり若い方がいらっしゃらないかなと思ひまして、先ほど事務局からあったように、平均年齢が68歳ということなので、

高校生が聞いたら面白いのではないかと思うので、参加してもらえたらと思います。  
実際、この公開講座のようなものは各市でも行っているのですか。

(鈴木副主幹)

形は少し違うかもしれませんが、市民大学のような形でやっています。

(平本委員)

市民公開講座は、あと5回あるので可能な限り行きたいと思っております。

それと、1回ごとにアンケートを取られてもいいのかなと思いました。やはり、来る方は毎回違うので。おそらく最後にアンケートを取られると思いますが。

(安藤委員)

私事ですが、7月21日に岩根公民館で子ども食堂をりましたが、その時に一緒にメンバーが14時から用事があるので早く帰ると言ったので、なぜか聞いたところ、市民公開講座に行くからと言われました。その人は60歳の女性ですが、今まで市民公開講座に行ったことがない人だったので、なぜ今年は受けるのか聞いたところ、高専の先生がいるからと言いまして、驚きました。しっかりと講座の内容を見て高専の先生が盤洲干潟の講義をやるから申し込もうと思った人が一人発見できて、この会議の存在意義が全く関係のない場所で体感できて嬉しかったです。また、本日夕方、生涯学習フェスティバル実行委員会がありますので、この会議の皆さんの意見がいろいろな場所で具現化することを感じましておりました。

(橋詰委員)

市はアピールするのが下手ですね。

(佐久間会長)

高専の先生による講座は期待してください。

(桂副会長)

放課後子ども教室は、6箇所しかやる計画はないですか。

(野口課長)

設置実績のある小学校区は10教室ですが、現在は、6教室のみとなっております。

(桂副会長)

好評ですか。

(野口課長)

私も実際に行ってみましたが、支援員の方々が子ども達と上手に接していました。

(桂副会長)

これはボランティアで運営しているのですよね。学校支援ボランティアと連携しているのですか。

(高澤教育長)

学校支援ボランティアとは違います。お手伝いしていただいている方もいますが、基本的に放課後子ども教室は、週に1回、2～3時間程度なので、学童とも違います。

(桂副会長)

好評であるならば広がってほしいと思います。

(平野委員)

福祉協議会の方が清見台地区で中学生を集めて学習支援をやっています。

(佐久間会長)

先ほど、市は広報が下手という話がありましたが、市以上に下手なのが実は高専です。高専はPRのようなことを全然やっていなくて、高専は皆元気で部活動も盛んで良い面がたくさんありますので、広報に力を入れてみようかと思ひまして、8、9月にあるオープンキャンパスの広報紙を作りました。既に4市の小学校、中学校は千葉県内全部に配布しました。

(橋詰委員)

高専の公開講座は、房総ファミリアに掲載されています。市民公開講座も掲載すればもっと参加者が増えると思います。

(鈴木副主幹)

市民公開講座も房総ファミリアに掲載しております。

(佐久間会長)

それでは、予定された時間となりましたので、会議を終了したいと存じます。皆様方のご協力が無事会議を進行することができました。

事務局におかれましては、本日、審議されました意見などを参考に、木更津市の生涯学習体制充実のため一層の努力をお願いいたします。また委員各位におかれましては、豊かな生涯学習社会実現のため、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日の会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

先ほど生涯学習フェスティバルを紹介させて頂きましたが、生涯学習推進協議会からも委員を1名選出していただいております。前年度引き受けていただいた安藤委員に今

年度も引き続きお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(事務局)

ありがとうございます。

それでは、長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今後とも本市の生涯学習活動推進のため、委員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

それでは平成30年度木更津市生涯学習課推進協議会第1回会議を終了いたします。どうもありがとうございました。